

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |           |   |   |  |            |
|----------|-----------|---|---|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号      | 現状における問題点、課題  | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | No.7,8,14 | 全スタッフで権利擁護に関する制度、高齢者虐待防止について学ぶ機会を作り人権教育に取り組んでいく必要がある。                               | 権利擁護、高齢者虐待防止について学び、スタッフ一人ひとりが知識、理解を深める。                             | 運営推進会議にて出前講座を活用し、成年後見制度についてスタッフ、地域住民、ご家族にも案内と一緒に学ぶ機会を作る。高齢者虐待防止については、事業所内での勉強会、外部研修参加時は必ず伝達研修を行う。又、権利擁護ポスターを事業所内に掲示する。 | 12ヶ月       |
| 2        | No.6      | 指定地域密着型介護サービスにおける身体拘束禁止の具体的な行為を全職員が理解していると言いつい難い部分がある。                              | 身体拘束について、定期的に支援内容を見直し振り返る機会をつくり、全職員が理解できるように取り組む。                   | 身体拘束の研修に参加したり、毎月実施している職員ミーティングの中で3ヶ月に1回は振り返る機会をつくり身体拘束0の支援を行っていく。  | 12ヶ月       |
| 3        | No.37     | 現在、年2回の消防避難訓練を実施しているが、近隣の施設との応援協定は出来ているが、現在、地域住民の参加が出来ていない為、地域住民との協力体制を気づいていく必要がある。 | 消防避難訓練時に地域住民の方々に参加して頂ける支援体制を構築したい。また、火災のみではなく、その他の災害に対する知識もさらに深めたい。 | 運営推進会議を活用し参加者の方々より意見やアドバイスを頂きながら、地域住民の方々から協力して頂ける支援体制づくりを目指す。また、その他の災害についての勉強会を消防署の方に実施して頂き学ぶ機会をつくる。                   | 12ヶ月       |
| 4        |           |   |   |  | ヶ月         |
| 5        |           |   |   |  | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。